

整理番号	49-3	事務事業名	図書館フィールドネット事業	作成部署	生涯学習部図書館	電話	373-7667	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内平一郎	課長職名	新谷良文	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H12	根拠法令等						
〃終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	平成10年図書館開設と同時に、そこを拠点として活動するボランティアのネットワーク(図書館フィールドネット)が発足。平成12年度に運営委員会を組織し、交付金により様々な読書普及・啓蒙事業を主催。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐむまち	(第4章)
	節	社会教育	(第3節)
	施策	読書活動の充実	(第5施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	フィールドネット運営委員会及び市民	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	北広島市の読書及び図書館活動の向上をめざすため、下記の事業を行う。 (1)読書普及事業の企画立案、実施 (2)読書普及事業に関わる関係機関や団体との連絡調整 (3)計画策定への協力など、読書推進に必要な事項	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等)の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	(フィールドネット運営委員会の活動内容) 読書まつり、パペットカーニバル、朗読・点訳活動、わっつおはなしまつり等各地区での普及事業を実施している。集客人員は、H12-11,319人、H13-17,896人、H14-15,939人、H15-16,928名、H16-18,710人
		17年度	地区の拠点施設整備に伴い、各地区への活動拡大を見込む。H17集客予定 19,000人。

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	2,000	2,000	2,000	2,000
	合計	2,000	2,000	2,000	2,000
人件費 (概算)	人数(年間)	1.00	1.00	1.00	0.40
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	9,000	9,000	9,000	3,600
総事業費 +		11,000	11,000	11,000	5,600

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	事業数	31事業	29事業	30事業	32事業
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	集客人員	16,928人	18,710人	19,000人	20,000人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1事業あたりの集客数	546人	645人	633人	625人
	還元率 (集客1人あたりの事業コスト)	649円	588円	579円	280円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	市民による市民のための普及啓発活動に対する事業補助であり、その自主性、発想の柔軟性、集客力などで全国の図書館でも例を見ない画期的な市民参画事業として注目されている。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありますか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	子どもの読書普及や障害者サービスなど、本来行政が担うべきサービスをも実施しており、公共性が高いことから、交付金による支援は適切な方法である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民主体の活動は、もっとも市民ニーズに近い視点から事業を計画させる。対象や内容もバラエティに富んでおり、市民全般への還元が配慮されている。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	事業の質的向上のため専門職との連携は今後も密に成されるべきだが、事務局を運営委員会内部に置くことは可能と判断する。	H18より運営委員会内部に事務局を設置する。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	事業への参加料や出版物の販売等、一定の事業収入を得ている。団体の通常活動は会費等で行っており、それを超えた市民の還元事業に対する交付金である。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	年間の事業本数や集客数など、図書館界では例のない活動である。人件費等の費用がほとんど無いために、コストパフォーマンスも高く、読書振興・図書館振興への貢献は大きい。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	事務局が図書館に置かれており、職員の事務負担が存在する。	H18より運営委員会内部に事務局を設置する。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	フィールドネット内部に事務局を設置し、職員の事務負担を抑えることで事業総額を軽減し、地区の拠点施設整備に伴う各地区への活動拡大を見込む。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市民による市民のための普及啓発活動として、1次評価のとおり事務局を運営委員会へ移管(18年度)するとともに、大曲・西部地区の学習拠点施設整備に伴う活動拡大を図る。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	49-3
------	------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	図書館フィールドネット交付金		
交付先の名称及び代表者名	図書館フィールドネット運営委員会 代表:竹田 妃登美	設立年	H12
構成員(団体)数	10団体 200名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	北広島市の読書及び図書館活動の向上をめざすため、北広島市図書館を拠点として活動する図書館フィールドネットの事業運営を行う。		
交付先団体等の活動内容	(1)読書普及事業の企画立案、実施 (2)読書普及事業に係わる関係機関や団体との連絡調整 (3)その他、読書活動の推進に必要な活動において、様々な事業を実施している。 子どもの読書普及 AV振興 平和振興 障がい者サービス振興 郷土学習振興 生涯学習振興 活動育成・図書館振興事業で、年間平均事業数は30本、18,000人を集客。		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	2,000	2,000	2,000	
	諸収入	159	390	160	
	繰越金	10	1	1	
	繰越金				
	収入合計(B)	2,169	2,391	2,161	
支 出	事業費(講習会,イベント,展示会)	1,922	2,323	2,000	
	予備費	246	67	160	
	支出合計(C)	2,168	2,390	2,160	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	1	1	1	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		92 %	84 %	93 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		全項目	全項目	全項目	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		2,000	2,000	2,000	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		100 %	100 %	100 %	
補助・交付金の算出根拠	定額				